

Let'sアクティブ・ラーニング4 -中1・中2のAL-

本校では、2015年より、授業に「**アクティブ・ラーニング**」を取り入れています。また、私自身が「アクティブ・ラーニング」を研究し、教育雑誌等で全国に発信しています（HP上の「**AL宝箱**」参照）。さて、2016年12月21日に、**中央教育審議会**から**答申**「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」が出ました。その**本文246ページ**の中で「アクティブ・ラーニング」という言葉が**31回登場**しています（ドリーム**第153号**参照）。現在、「**主体的・対話的で深い学び**」という言葉も使われていますが、本校では「アクティブ・ラーニング」という言葉を使い続けます。今、全国では「アクティブ・ラーニング（以下AL）」という**旗のもとで**、**授業改革**が進行しています。本校は、その授業改革の**パイオニア（先駆者）**として、全国的にも知られる存在となりました。

5月8日（月）も、千葉県**佐倉市教育委員会**「教育センター」の所長さんと指導主事さんが本校の取組について視察にお見えになりました。1・2年次生（中1・中2）の授業を見ていただきましたが、所長さんに「全生徒が**積極的に生き生きと**授業に参加しているのが驚きました。」と言われました。私も、皆さんの**前向きな姿勢**が大好きです。

ところで、下の写真で気がつかれたと思いますが、グループにならなくても、ALは成立します。私の**AL型授業**の定義は「**アクティブラーナー（能動的学習者）**」を育成することを**目的**としている授業です。つまり、「形式」ではなく「目的」が大切ということです。私は、AI（人工知能）等の発達により大きく変化する近未来にあっても「**アクティブラーナー**」ならば、**柔軟に対応できる**と信じています。頑張ってください(^_^)v

